

配布番号

教育・研修規定（EPR-07）

制定・改訂日	承認	審査	作成
制定 年 月 日			
改訂 年 月 日			

アイエスオー商事株式会社

文書番号： E P R - 0 7	文書名： 教育・研修規定	版： 1 . 0	頁： 1 / 2
----------------------	-----------------	-------------	-------------

1. 目的

本規定は、教育・研修の手順を明確にすることを目的とする。

2. 責任

総務部長は、教育・研修の責任を有する。

3. 教育・研修の計画

総務部教育担当者は毎年、新年度が始まる前に各部から提出させた部署別の「年度教育・研修計画」をもとに全社の「年度教育・研修計画」を立案し、環境管理責任者と社長の承認を得る。また「年度教育・研修計画」は6カ月ごとに見直しを行う。

4. 共通基本教育・研修

総務部は、下記教育・研修を実施し、管理する。

(1) 新入社員環境教育

「環境教育管理標準」に詳細を定める。

(2) 階層別環境教育

「環境教育管理標準」に詳細を定める。

5. 分野別専門教育・研修

総務部は、特定作業の担当各部に下記教育・研修の実施を要請し、管理する。

(1) 現場研修

現場における技術・技能の研修は各部長の指示により行う。

社員の技術・技能のレベルは各別別に実施される認定試験により確認される。

(2) 法規制上必要な資格の取得

法規制上必要な資格は、必要に応じ各部より担当者を外部講習会に派遣して修得させる。

(3) 内部環境監査員の養成

内部環境監査員の教育・研修は環境管理部が実施して、「内部環境監査員教育記録」に記録し、総務部に提出する。

教育・研修の詳細については「内部環境監査規定 (E P R - 1 1)」に示す。

6. 環境に関する自覚教育

各部署長は、以下の項目について、部員が自覚するように教育・研修を実施する。欠席者は確認し、同じ教育・研修を後日に必ず受けさせる。

(1) 環境方針及び環境文書並びに環境マネジメントシステムの要求事項を忠実に実行することの重要性

環境管理部の用意する研修用資料を使って、地球環境問題の現状、ISO14001 の要求内容、当社環境方針について説明し、その重要性を理解させる。

(2) 作業活動による顕在又は潜在の著しい環境影響、及び各人の作業改善による環境上の利点

「環境側面抽出表」および「環境側面評価表」を使って、各担当者の関係する環境影響とその改善に及ぼし得る影響を説明する。

(3) 環境方針及び手順との適合、並びに緊急事態への準備及び対応を含む環境マネジメントシステムの要求事項を忠実に実行するための役割と責任

部署の業務に関係する環境文書および「部署別業務分担表」を使って、部署内でやらなければならないこととその役割分担を説明する。

(4) 環境文書に規定された運用手順から逸脱した際に予想される結果

環境管理部の用意する研修用資料を使って、手順通りに運用しなければどのような環境影響が発生するかを説明する。